

20220422 メーデー湘南地区大会（撮影）

4月22日（金）「第93回メーデー湘南地区大会」が江ノ島サムエル・コッキング苑内（シーキャンドルデッキ サンセットテラス）で開催されました。今回のメーデーは、各産別より少人数にての縮小開催とし、運輸労連から3人（志田・轡田・望月）が参加しました。



鈴木議長

当日は、快晴！富士山をバックに式典が行われ、鈴木実行委員長（湘南地域連合：議長）は、3年ぶりの野外での開催。中国でのゼロコロナ対策。ロシアによるウクライナ侵攻。などに触れ、コロナ禍において労働者のより一層の連帯を呼びかけました。

来賓として阿部副事務局長（連合神奈川）より、祝辞が述べられました。

「『8時間は仕事・8時間は休み・8時間は自由な時間』を勝ち取った先達の思いを、今コロナ禍の中における働き方を見直すチャンスだ。」と述べました。



阿部副事務局長

湘南地域連議員団・協力議員の紹介では、あべともこ衆議院議員・脇礼子県議会議員・組織内議員より一言づつあいさつがされました。（下記：組織内議員）

- ・柳田 秀憲 藤沢市議会議員（情報労連）
- ・竹村 雅夫 藤沢市議会議員（日教組）
- ・大矢 徹 藤沢市議会議員（自治労）
- ・安藤 好幸 藤沢市議会議員（自動車総連）
- ・岸 正明 茅ヶ崎市議会議員（自治労）
- ・佐藤 一夫 寒川町議会議員（自動車総連）



あべともこ衆議院議員



大矢藤沢市議会議員

鬼塚実行委員長代行より『メーデー宣言』が提案され、会場全体で確認しました。

興邊実行委員長代行より、閉会のあいさつがされ、タオル一本運動・お米1合運動・フードバンクなどの取り組み報告と、今回集めたタオルについては、介護施設へ寄贈する事が述べられました。

最後に、鈴木メーデー実行委員長の『団結ガンバロー』にて終了しました。



20220429 メーデー湘南地区大会 (感想)

新型コロナウイルス感染症の発生から早3年が経過しようとしている。

3年の中で政府による蔓延防止宣言や緊急事態宣言の発令など日本全体での対策を行っているにも関わらず新株の発生など未だ留まることがない脅威に今日まで晒されながら日々でありました。

行動に制限がかかる中でも生活はしていかなければならない今、人権の尊重及び労働者の権利は守られて行かなければならないものである。

その中でメーデーの存在は非常に重要な活動であると考えます。

労働者の生活、環境を守るという使命を以て今後もメーデーの活動は続けたいというべきもの強く感じております。

椎野 陽一 (丸全昭和運輸労働組合)

第93回湘南地区大会がWEBにて開催された。今回もWEBでの開催であるが、配信動画は江ノ島で撮影された。

天気にも恵まれた撮影となり湘南地区の海側のアピールにもなった。次回以降は、実際に会場でお祭りをしたいと思うがしばらくは動画撮影も平行し、次は湘南の山側や各産業のアピールをしていければとよいと思う。

協力議員の方とも協力し労働者が抱える諸問題に取り組んでいきたい。

志田 一宏 (日新労働組合)

今回、江の島といった湘南地域のシンボルにて開催され、少しずつ運動を取り戻しているような感じがしました。メーデーの式典については、富士山をバックに屋外ならで、トンビの鳴き声やヘリコプターの騒音などの音が効果音になり、個人的には、WEBによるメーデーでも十分かな?と思いましたが、実開催はそれなりに横のつながりとして、他の運輸労連の仲間とのコミュニケーションを得ることができます。そのためにも数少ない必要な機会ですので、今回は、規模を縮小してでも実開催にこだわって実行してほしいです。

当日の抽選会には参加できませんでしたが、『037』見事に『ヤマト運輸労働組合湘南支部賞』をゲット!ありがとうございます。

望月 博巳 (県連)